

8 センタールーフの重ね葺き工法

8-2 下葦材の施工

ニチハ『あんしん』屋根カバー工法(既存屋根が石綿を含む場合)

2)ニチハ『あんしん』屋根カバー工法

ニチハ『あんしん』屋根カバー工法は、**石綿(アスベスト)を含んだ**セメント系新生瓦の上に重ね葺き工法により屋根材を施工する際、**片面粘着層の付いていない下葦材**を使用することにより、将来的な建物の解体時の廃棄物(石綿含有建材)分離処分をしやすいものです。

下葦材の固定には「耐力面材『あんしん』壁倍率5.0用めっき鋼板」を使用し、重ね葺き専用釘で留め付けます。

下葦材留め付け補助部材

商品名	品番	サイズ
外周部めっき鋼板(あんしん壁倍率5.0用)	FA4000	0.35×30×855mm

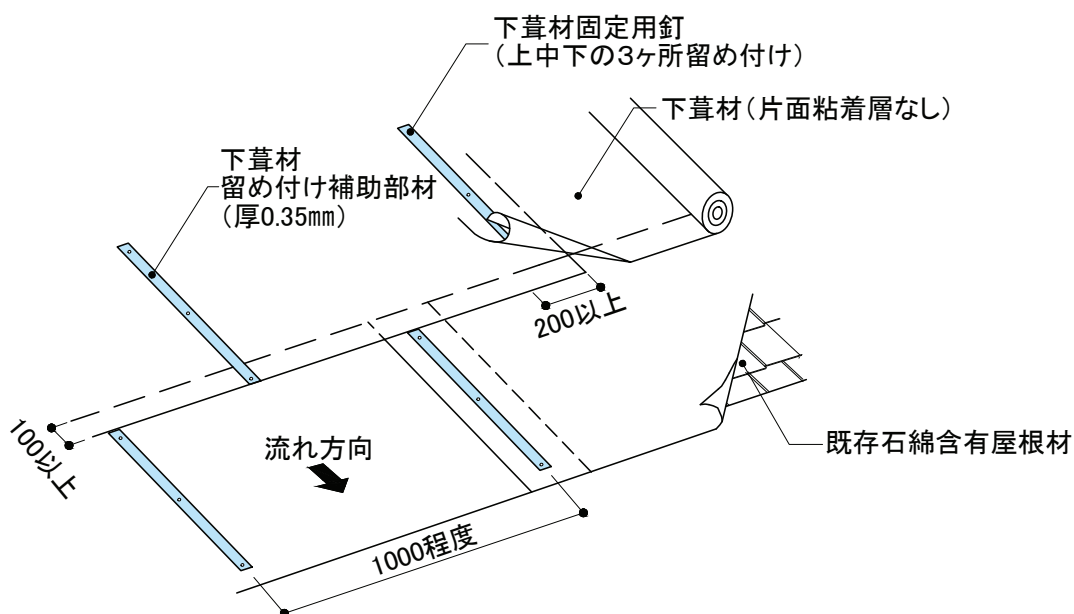
下葦材固定用釘

商品名	品番	サイズ
ステンレススクリュー釘	JK500E	φ2.3mm×50mm

【使用する下葦材】

アスファルトルーフィング940(JIS A 6005)、改質アスファルトルーフィング(ゴムアス):厚1.0mm以上

- 下葦材の重ねしろは上下100mm以上、左右200mm以上とします。
- 下葦材留め付け補助部材は流れ方向に平行に留め付けます。
- 既存屋根材の上に下葦材を敷きながら1000mm程度の間隔で下葦材留め付け補助部材を施工します。
- 下葦材留め付け補助部材に対し、上中下の3ヶ所を留付用釘にて留め付けます。
- 下葦材の左右重ね部分には必ず下葦材留め付け補助部材を設置し、固定します。
- 施工する地域の風の強さ、下葦材施工後の新規屋根施工までの期間を考慮し、必要に応じて下葦材留め付け補助部材の数を増やすなど調整します。



※既存屋根材が石綿含有建材の場合、建築物の解体工事における各種法令を遵守し、適切に対応してください。